

事務事業評価表 平成23年度

政策 安心を感じる保健・医療・福祉の充実
 施策 子育て環境の充実
 基本事業 未就学期児童への支援

事業名 **民間社会福祉施設整備費補助事業 (保育園)**

[0152]

部名	健康福祉部	事業開始年度	平成15年度	実施計画事業認定	非対象
課名	子育て支援室保育課	事業終了年度	- 年度	会計区分	一般会計

事務事業の目的と成果	
対象	<p>(誰、何に対して事業を行うのか)</p> <p>国の交付金又は補助を受けて施設建設を行った民間保育所</p>
意図	<p>(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)</p> <p>保育所の新築・増改築により定員の拡大、特別保育の実施が図られ、待機児童の解消、快適な保育環境の整備が促進される。</p>
手段	<p>(事務事業の内容、やり方、手段)</p> <p>江別市民間児童福祉施設等整備費補助要綱に定める社会福祉法人に対し建設費の一部及び償還金の補助を行う</p>

事業量・コスト指標の推移						
区分		単位	20年度実績	21年度実績	22年度実績	23年度当初
対象指標1	国の補助を受けて施設建設を行った民間保育所数	箇所	3	3	4	4
対象指標2						
活動指標1	補助金額	千円	7,153	7,063	148,417	9,297
活動指標2						
成果指標1	市の補助を受けて待機児童の解消、快適な保育環境の整備が促進された民間保育園の数	箇所	3	3	4	4
成果指標2	拡大された定員数	人	0	5	14	46
単位コスト指標						
事業費計 (A)		千円	7,153	7,063	148,417	9,297
正職員人件費 (B)		千円	418	415	6,448	407
総事業費 (A) + (B)		千円	7,571	7,478	154,865	9,704

費用内訳	
22年度	負担金 補助及び交付金 148,417千円

事業を取り巻く環境変化

事業開始背景		事業を取り巻く環境変化	認可保育所に入所できない待機児童の解消と老朽化が進んだ民間保育所の施設機能の保持ならびに入所児童の処遇向上を目的に事業を開始した。現在は、就労形態の多様化・入所していない家庭への支援も求められている現状にあり、一時保育室、地域子育て支援スペース等の整備が望まれている。
--------	--	-------------	--

22年度の実績による事業課の評価（7月時点）

(1)税金を使って達成する目的(対象と意図)ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？

義務的事務事業
 妥当である
 妥当性が低い

理由・
 根拠は？

施設整備をすることにより定員拡大・乳幼児保育併設・一時保育、子育て支援等、多様な保育ニーズに応えとともに待機児童削減並びに快適な保育環境ができることは市の役割として妥当である。

(2)上位の基本事業への貢献度は大きいですか？

貢献度大きい
 貢献度ふつう
 貢献度小さい
 基礎的事務事業

理由・
 根拠は？

多様な保育メニューによって子育てと仕事の両立に貢献できる。

(3)計画どおりに成果はあがっていますか？計画どおりに成果がでている理由、でていない理由は何ですか？

あがっている
 どちらかといえばあがっている
 あがらない

理由・
 根拠は？

施設整備により平成22年度わかば保育園改築によって定員拡大が可能となった。また子育て支援センター開設により子育て支援の充実をはかることが出来た。

(4)成果が向上する余地(可能性)は、ありますか？その理由は何ですか？

成果向上余地 大
 成果向上余地 中
 成果向上余地 小・なし

理由・
 根拠は？

民間保育園4園の施設整備が終了、今後も計画的な整備を実施していく。

(5)現状の成果を落とさずにコスト(予算+所要時間)を削減する新たな方法はありませんか？(受益者負担含む)

ある
 ない

理由・
 根拠は？

施設整備要綱に基づく補助である。